

## 【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 電話3399-2196

## 文化と教養の中瀬

校長 香西雅斗

科学と自然の散歩みちのあちらこちらで彼岸花が咲き、いつの間にか北門の柿が色づいています。まだ暑い日もありますが、秋が確実に深まってきました。

秋と言えば「読書の秋」です。中瀬中学校でも、2学期の始業式に、それまでの学校図書館の貸し出し冊数の多かったクラスを表彰しました。最高は1年A組の388冊で、平均すると一人12.5冊読んだこととなります。朝読書に学校図書館の本を利用することにより、図書館利用を進める取り組みの効果が表れてきました。幅広いジャンルの本に親しみ、生徒たちの読書の質も高まっていくことが期待されます。

また9月14日(木)と15日(金)には学校支援本部『結』の方6人の協力を得て、7月に中瀬検定を受けられなかった生徒を対象に、補充検定を行いました。この結果「中瀬言葉の検定」の40問のうち、すでに10問以上を暗唱して4級を獲得した生徒が63人、第一回の検定にも関わらず3人の生徒が20問以上を暗唱し、見事3級を獲得しました。

読書も中瀬検定も、直接授業に関わる事ではないし、成績に直結する事ではありませんが、熱心に取り組む生徒の素晴らしい姿が見られました。ここで授業に関係する興味深い出来事を紹介したいと思います。1年生の社会科を担当している六川先生の話で、授業の中でバナナに貼ってあるシールが3種類あることを紹介したところ、後日に何人もの生徒から「先生、お店でバナナを見てきました。本当に3種類ありました」と話しかけられたということです。

学習は授業の中、教室の中だけで完結するものではありません。ましてや良い成績を取るためにするものではありません。生徒たちが生きていく中で活かす、それが本来の学習だと思います。中瀬中はそこに向かい、一步一步進んでいます。

中瀬中と言えば、長いことその枕詞は音楽でした。でも今、中瀬中は「音楽だけの中瀬」ではありません。生徒たちが、豊かな人生を切り拓いていくための学習を積み重ね、互いに支え合い切磋琢磨し合い、心のハーモニーの響き渡るそんな中瀬中でありたいと思います。

## 生徒たちの自治の力

昨年度の学校アンケートに、生徒たちからいくつかの声が寄せられました。一つは男子更衣室の改善、これはPTAや地域の方々の協力をいただき、雨の吹き込まないように修繕することができました。

もう一つは、昼休みの体育館解放と、冬服の時のセーター・カーディガンでの生活です。これについては中央委員会での何回かの話し合いと、学級討議を経て、案を作りとりあえず試行するところまでこぎつけました。体育館については学年が平等になるように、セーターについては「集会・職員室・登下校はセーターだけは不可」など、自分たちで責任をもって自分たちで運営しようとしています。



<3で割って1余る日は1年生！>

自分たちで考え課題を解決しようとする自治の力の成長を、これからも応援していきます。

# 留学生との交流体験

9月9日（土）に39名の外国人留学生をゲストに招き国際理解教育の授業を行いました。留学生の出身国は

ブラジル・韓国・ケニア・モンゴル・中国・タイ・台湾・インドネシア・シンガポール・フィリピン・スウェーデン・ミャンマー・ラオス・ベラルーシ・アメリカ・ペルー・コロンビア・パラグアイ・トンガ・イラン



<39名の留学生が並んで挨拶>

です。



<ハイタッチ自己紹介>

留学生たちは「中瀬と他の学校の特色の違いは何ですか」「困った時にそばにいてくれる人はいますか」など、相手の考えを知ろうとする問いかけをしていました。

生徒たちは学年が混ざり合った5～6人グループに分かれ、1～2名の留学生を迎え、まず「ハイタッチ自己紹介」「世界の言葉のクイズ」を通して『アイスブレイク』を行いました。

続いて『Q&A in English』では、生徒と留学生が、できるだけ英語を使って質問し答えながら話をしました。



<言葉のクイズ>

また生徒たちから「好きな映画」を聞かれた時に、タイトルを答えるだけでなく「その話、知ってる？」と聞きいたり、知らなかったら、あらすじを説明したりしていました。



<トンガのアリシさんのグループ>

生徒たちは、留学生が上手に日本語を話すことに驚き、また英語で詰まった時に助けてくれたり「日本語でもいいよ」と声をかけてくれたことに、とても安心したようです。



<イランのマリアムさんのグループ>

実は留学生の多くは国費留学、つまり国の代表という思いで日本に来ています。半年の留学で、ほとんどの留学生が日本語検定2級（日本の大学生レベル）に合格するという話もうなずけます。

最後は『外国人ゲスト紹介カードを作ろう』のコーナー。生徒たちは留学生と話をしながら、ゲストの方のこと、出身国のことなどをレポートにまとめました。

留学生の方たちは、中学生の生徒を決して子ども扱いせず、お互いに一人の人間として、真剣に相手のことを知ろう、日本のことを学ぼうとしていました。その真摯な姿勢は、生徒たちの心を開き、楽しく価値の高い時間となりました。

「相手を知ろう、相手に伝えよう」「教養と知識、考える習慣」「英語を学び、英語を活かす」など様々なことが体験できた実りの多い交流であったと思います。



<ケニアのブライアンさん、タイのサンさんのグループ>

# 一年生の振り返りより

18才、自分と5才しか離れていないのに「留学する」と決断したのはすごい。言語など大変なことはあるが、それを乗り越えていくチャレンジ精神を、自分でも強めていきたい。世界の人々の考えを、考え合い生きていこうと思う。【モンゴル、ゾルザヤさん】

二人といえる時間がとても楽しかった。分からない問題があった時「間違えてもいい」と言ってくれ、自分に自信がもてた。聞き取れなかった時、ゆっくり言ってくれたり、日本語に訳してくれた。【ミャンマーのシユーさん、ラオスのラシダさん】

「先生は間違ってもいい」と言ってくけど心配だった。留学生と会って話してみると、間違えたけれど、大体は伝わって良かった。留学生の英語は早口だったが大体は分かった。外国の人と話すのが少し怖くなくなった。【スウェーデンのケビンさん】

外国人との交流は言葉が通じなくて大変だと思って、緊張していた。でも、英語と日本語を混ぜながら話して通じたことが、とてもうれしかった。知らなかった国の料理や有名な場所を教えてもらい、楽しかった。【パラグアイのパオラさん】

日本の良い所をあまり考えたことがなかったが、日本が外国の人にどう思われているのかがよく分かった。初めは緊張していたが、留学生が優しく接してくれて、海外の人との交流が楽しくなった。【ケニアのブライアンさん、タイのケンさん】

なかなかできない交流体験ができ楽しかった。でも英語の文法を知っていても「間違えたらどうしよう」「上手く伝わらないかもしれない」と不安になり、聞きたいことを言葉にできなかった。次回は積極的に声を出したい。【ブラジルのハルミさん】

日本語や英語で話すことはお互いに難しかったけれど、一生懸命に何か伝えようとすることで、気持ちはずっかり伝わるんだと分かった。東京五輪の時には、うまく話せなくても、外国の人の助けになりたいと思った。【タイのアリチャさん】

相手の国の言葉話す事で、間違いを恐れなくなった。少し間違えても周りの人が教えてくれて助かった。キムさんは、今年の4月に日本に来たのに日本語がとて上手で驚いた。私もこれからは英語を頑張って学んでいきたい。【韓国のキム フォインさん】

# 二年生の振り返りより

別の国の人と話す事は初めてだったが、とても楽しかった。また徐々に必死に言葉を伝えたり聞いたりした。聞き取れなかったり、上手く伝わらなかったりとまだまだ力不足だが、五輪に向け努力したい。【ミャンマーのシユーさん、ラオスのラシダさん】

英語で質問、回答すると聞き返されることが多かった。単語のつながりがどれほど大切か学んだ。でも、英語が通じたという喜びもあった。書いてあることが通じる友達や先生と話すより嬉しかった。これから外国の方と関わる時、逃げずに伝えていきたい。【インドネシアのダルビナさん】

留学生との交流を通して改めて英語の難しさを知った。英語をただ話すのは簡単だけど、相手の英語を理解しなうえて英語で話すのは、とても難しかった。もっと英語を頑張り四か国語を話せるアケミさんの様に外国の人と話したい。【ペルーのアケミさん】

最初は緊張して自己紹介もまともにできなかった。でも私でも分かる英語や日本語で話しかけてくれて、自分も色々話してみようと思うようになった。話してみると、マンガやゲームの話で盛り上がりとても楽しかった。【スウェーデンのカリンさん】

今回の交流で、「コミュニケーションの大切さを学んだ。英語は授業でできることも多い。これは日々本番を意識しないと発揮できないことだ。外国の人と話す時は『相手に伝える』ことを忘れずに話していきたい。【韓国の李政俊さん】

英語で話すのは難しかったけれど、留学生の方がしっかり答えられて嬉しかった。外国の方と話すことはほとんどなく不安だったが、違う国の話を聞いたり、外国から見た日本などを知れて、とても楽しかった。【台湾の築さん、廖さん】

交流を通して、自分の国とは違った文化の、知らなかったことがたくさんあり、とても驚いた。自分の文化を押し付けるのではなく、お互いの文化を理解し認め合うことが大切だと思った。【ブラジルのハルミさん】

英語が苦手な話すが不安だ。でも伝えようとするとよく聞いてくださり、通じて返事が返ってきた。安心した。「英語は役に立つから頑張らな」と言われ頑張ろう、そして色々な事にチャレンジしようと思った。【インドネシアのブライアンさん】

# 三年生の振り返りより

三A  
留学生と話せてとても楽しかった。色々な国で色々な人が色々な考え方をもっていることに気がついた。また、日本のアニメやマンガが他の国で、そんなにも高い人気だとは思っていません。インドネシアのダルビナさん】

三A  
たとえ住む場所や言葉が違っても、共通な話題を見つけ楽しく話せた。勇気を出して自分の思っていることを伝えること、相手の目を見て話すこと、相づちをうったり明るい表情をすることが大切だと分かった。【パラグアイのパオラさん】

三B  
違う国や文化の間でも、共通な趣味や好きなことの話で盛り上がった。でもやはり言語は難しい。留学生の方が、日本語をほとんどゲームで覚えたと言った時はびっくりしたが、それを聞いて自分も英語などをがんばって勉強しようと思った。【ペラルーシのペラさん】

三B  
日本の歴史や文化は外国から興味をもたれるのだと改めて思った。外国人が知っているのに日本人が知らない日本のことがあるのはすごく恥ずかしかった。自分の国を知って、たくさん勉強していろいろな国に行ってみたいと思った。【アメリカのアレックスさん】

三C  
どんな異国の人でも、言葉が通じるだけで仲良くなり、互いの気持ちを理解しあえると分かった。二人はともとも日本語も上手でフレンドリーで、もっと話したいと思った。他の国の文化や言語を学ぶのはとてもおもしろい。【中国のコウホウさん、インドネシアのジュリアナさん】

三C  
違いのある国や文化や言語だけど、理解しよう、頑張ってみようと思えばとても楽しくコミュニケーションができると思う。また、たった一つの英語で色々な国の人とたくさん交流できるのなら、英語をもっと学ぼうと思った。【シンガポールのレイさん】

10月の予定							⑤…スクールカウンセラー出勤日
日	月	火	水	木	金	土	
10/1	生徒会朝礼 2	給食試食会 ⑤ 3	小中合同研究会 4	5	英検 6	7	
都民の日	領域診断テスト(3)	職場体験(2) PTA役員会 CS	職場体験(3) 1,2年午前授業	職場体験(3)	⑥ 進路説明会		
8	9	⑤ 10	11	12	13	震災対策訓練 14	
	体育の日		⑤ いのちの教育 専門・中央委員会	避難訓練	環境学習(1)	環境学習(1) 進路学習(2)	
15	全校朝礼 16	⑤ 17	18	19	漢検 20	21	
	音楽発表会特別時間(5時間授業) 始	⑤ 学校保健委員会 PTA運営委員会 10:00~	専門・中央委員会	小児生活習慣科 1年ハーフサル	⑤ 生徒総会 2,3年ハーフサル	中瀬フェスタ	
22	23	⑤ 24	職員会議 25	26	27	28	
	理科上前授業(3)		2,3年ハーフサル	1年ハーフサル	音楽発表会準備		
29	30	⑤ 31					
	音楽発表会	①振り返り					

< 11月の予定 > 11/2(木) ICT公開授業、6(月)~10(金) 3年進路面談、13(月)~17(金) 学習教室  
16(木) スペシャル・オリンピックス講演会、17(金) 2年茶道体験、20(月)~22(水) 期末考査、25(土) 道徳授業地区公開講座  
28(火) 1年和太鼓体験  
※ 年度当初の予定では、11/9,10 に1,2年生の保護者会が予定されていましたが、都合により 12/1(金)に行きます。

## 今月の取り組みの紹介

- (1) いのちの教育…情報モラルについて理解し、情報機器の取り扱いについて学び、いじめやトラブルにつながらない利用ができるようになることが目標です。~10/11(水) 5校時 体育館
- (2) 1年生の環境学習…昨年度の1年生の「夢の卵を育もう2！」の取組を引き継ぎ、今年も『結』の協力で、科学と自然の散歩道の調査を行います。今年は一クラスずつ、散歩みちの樹木を調べ、学校図書館で調べ学習をします。散歩みちの樹木マップを作ることが目標です。~10/13,14
- (3) 2年生の進路学習…大人のサポートメンバーの協力を得て、職場体験を終えた生徒たちが体験を振り返り、仲間とシェアしながら、気付きを深めていきます。「職場で活躍する大人になるための“次の一歩”」を見つけることが目標です。~10/14(土) 2,3時間目 体育館